

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・(その他補助)	開始時期	令和2年4月1日	終期	令和5年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		地域清掃活動費等補助金 地域における一斉清掃や側溝清掃等の美化活動にかかる費用の一部を補助するもの。 補助率 4/5、@250円×参加者数の 4/5 を上限とする。					
款・項・目		衛生費 清掃費 清掃総務費					
所属等		環境部 廃棄物対策課 分別・美化グループ 電話 025-226-1405					

年 度		令和2年度（1年目）		令和3年度（2年目）		令和4年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	11,527		12,338		15,868	
	決算(千円)	8,930		11,533		15,868	
補助率		4/5		4/5		4/5	
目 標		地域環境の保全及び環境美化の推進を図る <目標が数値でない場合の評価方法> 自治会等の環境美化意識の向上が図られたか否か					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	コロナ禍で例年よりも活動が制限されている中、453件の申請があった。地域清掃活動を通じ、地域の美化が促進されるとともに、参加者の環境美化意識の向上が図られた。	前年度に引き続き、コロナ禍で活動に制限がある中、579件の申請があった。身近なところの清掃活動に取り組んでもらうことにより、地域の美化が促進されるとともに、参加者の環境美化意識の向上が図られた。	コロナ禍における感染対策が浸透したことで、令和4年9月末時点で433件と申請件数が増えてきており、各団体の活動規模も大きくなってきている。地域の清掃活動の機会が増えたことで、地域の美化が促進されるとともに、多くの参加者の環境美化意識の向上が図られた。			
補助事業者による情報の公表		自治会総会、回覧、決算報告書等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 地域に根差した小規模な活動が多いため、申請額が低額であることが多く、補助額が5万円を超えることはほとんどない。ごみの有料化に合わせた市民への還元事業であるため、市民が実施する環境美化活動に対しては、上記の補助率とする。				
	<g～hにおける取組> 自発的な活動を対象としているため、数値目標の設定にそぐわない面はあるが、申請件数や事業実施団体からの報告内容等を踏まえ、適当な数値目標を設定できるか、引き続き検討していく。				
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること					
新型コロナウイルスの影響により、令和2・3年度は地域等での清掃機会の減少により、申請件数・補助額とも大幅に減少したが、令和3年度以降は徐々に復調傾向にあり、環境美化活動の活性化が図られている。今後はコロナ禍以前のように増加していくことが見込まれ、事業を継続していく必要があると考える。					